

アウトカム評価・臨床指標 / 医療機能の変化に係る特別調査について

1. 調査の目的

DPC 導入による患者アウトカムや医療プロセスの変化または影響及び医療機能の変化について、臨床指標等を活用し評価を行う。

2. 班構成

【診療報酬調査専門組織委員】

武澤 純：名古屋大学大学院救急・集中治療医学/教授（班長）

西岡 清：横浜赤十字病院/病院長

柿田 章：北里大学名誉教授（私立医科大学協会/副会長）

原 正道：横浜市立大学医学部/教授

松田晋哉：産業医科大学公衆衛生学/教授

信友浩一：九州大学大学院医療システム学/教授

酒巻哲夫：群馬大学医学部医療情報部/教授

【診療報酬調査専門組織外の委員】

吉田勝美：聖マリアンナ大学予防医学/教授

長谷川敏彦：国立保健医療科学院政策科学部/部長

石田達樹：東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター/専門職員

小山信彌：東邦大学医学部附属大森病院/病院長

注： は班長

3. 調査方法

(1) 調査方法

DPC の導入に前後して毎年 7～10 月に実施される退院患者調査および医療機能評価に係るアンケート調査を素材として、アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。

具体的な進め方は下記のとおり。

- ・ 評価指標について、短期的な指標、長期的な指標に分けて整理し、指標の定義（分子 / 分母の定義）、データの収集方法について検討する。様式 1 と E・F ファイルに含まれる項目（別紙 1）に関しては平成 14 年から平成 16 年（7 月から 10 月）の収集データから調査を行うこととし、医療機能に関する調査で上記指標に含まれない指標（別紙 2）については別途アンケート調査を行う。
- ・ これら両者のデータを統合し、アウトカム評価、臨床指標、医療機能の変化に係る集計・分析を行う。

(2) 調査対象病院

DPC 対象病院 (特定機能病院等)

DPC 試行病院

DPC 調査協力病院

(3) 調査票

アンケート調査の調査票は別紙 3 の調査票 1 ~ 8 のとおり。

エクセルに本票を作成して入力シートとし、エクセルに入力すると別途提出用データが作成できるようにして病院の負荷軽減を図った。

4 . 調査の実施状況

12 月 17 日 調査説明会開催

1 月 14 日 調査票の発送

2 月 10 日 データ提出期限 (データ収集状況の詳細は、別紙 2)

2 月 14 日 ~ データクリーニング・データ集計

5 . 調査結果

様式 1、EF ファイルから行った集計の条件、対象病院は別紙 4 のとおり。集計結果については別紙 5 のとおり。

アンケート調査について、3 月末までに回答が得られた 242 病院の内訳については別紙 6 のとおり。得られたデータについて、データクリーニングを行い集計を行った結果については別紙 7 のとおり。

様式 1、EF ファイルからの集計項目

集計項目**重症度に関する指標**

- 入院時 ADL スコアが 10 点未満の割合
- 1000g 以下で搬送された新生児数
- 心不全のデータにおける NYHA 心機能分類 の割合
- くも膜下出血のデータにおける JCS 300 の割合
- 70 歳以上データの割合
- 1 歳未満データの割合

医療内容に関する指標

- 全身麻酔による手術を受けた割合
- 手術前日数の変化
- 手術後日数の変化
- 手術難易度別患者数

アンケート調査からの集計項目

入院外来比率

病床構成等

- 総病床数
- 一般病床
- 精神病床
- 感染症病床
- 医療療養病床
- 介護療養病床

病床利用率に係る情報

- 新規入院患者数
- 一般病床（届出）
 - うち、回復期リハビリ
- 療養病床（医療保険）
 - うち、回復期リハビリ
 - うち、特殊疾患療養病床
- 療養病床(介護)
- 感染症病床（1・2類）
- 精神疾患病床

手術件数

- 入院手術件数
- 日帰り手術件数
- 緊急手術件数

分娩件数

- 正常分娩件数
- 異常分娩件数
- 帝王切開件数

処方箋発行枚数

- 院外処方

外来診療の状況

- 紹介率（外来）
- 逆紹介率（外来）
- 時間外・休日又は深夜に受診した6歳未満の初診患者の率
- 救急用の自動車で搬送された初診患者の率

高度医療の提供実績

高度先進医療の承認件数
専任の治験担当職員の配置による治験管理センター設置の有無
高度先進医療の実施件数
高度先進医療の申請中件数
治験契約件数
治験実施件数
治験完全実施率

臓器移植

心臓移植件数
肝臓移植件数
腎臓移植件数
肺移植件数
造血細胞移植(骨髄移植・同種末梢血幹細胞移植・臍帯血移植)件数

教育研修機能

指導医の数
経験5年以上の医師数
研修医数
指導医1人当たりの研修医数
研修1年目、2年目の研修医の受人数
1病床当たりの専門医・認定医数
CPC(臨床病理検討会)の開催回数(11月の1月間)
常設の研修管理委員会(卒後臨床研修センター等)の有無
指導医講習会に参加した指導医の数
薬剤師数
放射線技師数
検査技師数
理学療法士数
作業療法士数
上記以外の研修生数
研修カリキュラムの有無

地域医療との連携状況

地域医療連携室の設置状況
24時間診療受付体制

医療の安全に関する取り組み

医療にかかる安全管理のための委員会の職種別人数
医師・歯科医師 看護師 薬剤師 その他の職種
医療にかかる安全管理のための委員会の年間開催回数

看護師配置の実績

看護職員一人当たりの患者数
専門看護師・認定看護師数
看護職員数

検査部機能

パニック値（異常値）検出後連絡マニュアルの有無

病理部機能

術中病理迅速診断への対応の有無

栄養部機能

学会認定によるNST（栄養サポートチーム）の有無

医療の質に関する取り組み

医療の質の取り組み状況

クリニカルパスの数

クリニカルパスの適用患者率

ISOの取得の有無

調査票1～8に共通する入力ルールの記載

調査票1～調査票8までの8枚のシートそれぞれにデータを入力して下さい。
黄色で塗られた項目のみが必要入力項目です。
データ取得期間

各項目の対象期間は、収集期間欄に示しています。調査にあたって年間分を集計することが困難な場合は、調査期間中の任意のヶ月間の集計値を記載してください。
その場合は、備考欄に調査期間を明記してください

該当しない項目

各項目の事項が病院に該当しない(存在しない)場合、備考欄に「該当なし」と明記してください

データを取得できない場合

データを取得できない項目に関しては、備考欄に「取得不能」と明記し、取得できない理由も備考欄に続けてご記入の上、お知らせください。

データ入力ルール

- 1) (数値入力) 単位(人、床、件等)は記載せず、数値のみ記載してください
- 2) (チェックリスト項目) 分子が「有無」の場合は、該当欄に「有」または「無」でお答えください。また、病院に該当しない場合は「該当しない」を選択肢から選択してください

その他必要と思われる事項の設定、記載

担当者連絡先 はこちらもご記入下さい

| 施設コード | 記載担当者名 | 所属 | 連絡先 |
|-------|--------|----|-----|
| | | | |

平成16年 医療機能の評価に関するアンケート調査結果 (案)

調査票1

(病棟構成比率数等)

| 種別 | 種別数(注1) | 種別数 | うち、看護助産等専従員 専従員比率数 | 分子 [単位] | 分母 [単位] | 測定期間 | 情報収集方法(情報源) | 備考欄 |
|--------|---------|-----|-----------------------|---------|---------|-------------|-------------|-----|
| 総病床数 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |
| 一般病床 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |
| 精神病棟 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |
| 感染症病棟 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |
| 介護療養病棟 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |
| 産科病棟 | | | | [床] | [床] | 平成16年7月1日時点 | | |

注1. 産出病床数とは、分娩診療として分娩診療室に届けられた病床数をいう

(病棟利用量に係る情報)

| 分子 | 分母 | 分子 [単位] | 分母 [単位] | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|----------------------|----------------|---------|---------|-------------|--------|-----|
| 新規入院患者数 | 新規入院患者数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 一般病床(産出) | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| うち、回復期リハビリ | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 療養病棟(医療保険) | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| うち、回復期リハビリ | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| うち、療養病棟(医療保険) | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 療養病棟(介護) | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 感染症病棟(2割) | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 精神疾患病棟 | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 精神病棟 | 在院患者延べ数 | [人] | [人] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| 長期(90日以上)入院患者数(一般病床) | 長期(90日以上)入院患者数 | [人] | [人] | 平成16年7月1日時点 | 医療統計 | |

注. 病棟利用量(調査期間中の在院患者延べ数÷調査期間中の日数(23日)÷7月1日現在の産出病床数) x 100

(手術件数)

| 分子 | 分母 | 分子 [単位] | 分母 [単位] | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|------------------|----------|---------|---------|--------|--------|-----|
| H14 入院手術件数 (注1) | 入院手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H14 日帰り手術件数 (注2) | 短期滞在手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H14 緊急手術件数 (注3) | 緊急手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 手術部記録 | |
| H15 入院手術件数 (注1) | 入院手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H15 日帰り手術件数 (注2) | 短期滞在手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H15 緊急手術件数 (注3) | 緊急手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 手術部記録 | |
| H16 入院手術件数 (注1) | 入院手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H16 日帰り手術件数 (注2) | 短期滞在手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 医療統計 | |
| H16 緊急手術件数 (注3) | 緊急手術件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 手術部記録 | |

注1. 入院患者を対象とする。手術件数とは、手術料(保険点数コード)を算出した全ての件数をさす

注2. 入院患者を対象とする。手術件数とは、手術料(保険点数コード)を算出した全ての件数をさす

注3. 緊急手術とは、手術室で行われ、患者の生命予後、身体機能に重大な影響を及ぼす手術を指し、診断が確定して即日に行われる手術である。

最終手術件数を基に算出された手術件数をさす

(分娩数)

| 分子 | 分母 | 分子 [単位] | 分母 [単位] | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-----------------|--------|---------|---------|--------|--------|-----|
| H14 正常分娩件数 | 正常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H14 異常分娩件数 (注1) | 異常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H14 帝王切開件数 | 帝王切開件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H15 正常分娩件数 | 正常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H15 異常分娩件数 (注1) | 異常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H15 帝王切開件数 | 帝王切開件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H16 正常分娩件数 (注1) | 正常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H16 異常分娩件数 (注1) | 異常分娩件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |
| H16 帝王切開件数 | 帝王切開件数 | [件] | [件] | DPC期間中 | 産科記録 | |

注1. 異常分娩とは、早産、胎膜早剥、胎盤出血等産前産後、胎子分娩および胎児分娩以外の経産分娩をさす。

(処方箋発行枚数)

| 分子 | 分母 | 分子 [単位] | 分母 [単位] | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|---------|---------|---------|---------|--------|--------|-----|
| 処方箋発行枚数 | 処方箋発行枚数 | [枚] | [枚] | DPC期間中 | 医療統計 | |

表 数 表 2

| (株主総会の決議状況) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) | 株主総会決議の賛成者数 (株主) (人) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 外資 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 議決権の行使状況 | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 賛成 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 反対 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(注) 1. 投票日の前日(株主総会の日)に議決権の行使状況が「議決権行使」である場合は、議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。2. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。3. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。

(株主総会決議の状況)

| 議決権の行使状況 | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 賛成 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 反対 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(注) 1. 投票日の前日(株主総会の日)に議決権の行使状況が「議決権行使」である場合は、議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。2. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。3. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。

(報告対象事項)

| 議決権の行使状況 | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 賛成 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 反対 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(注) 1. 投票日の前日(株主総会の日)に議決権の行使状況が「議決権行使」である場合は、議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。2. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。3. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。

(議決権行使)

| 議決権の行使状況 | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) | 議決権の行使者数 (株主) (人) |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 賛成 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 反対 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(注) 1. 投票日の前日(株主総会の日)に議決権の行使状況が「議決権行使」である場合は、議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。2. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。3. 議決権行使の総数(株主)は、議決権行使の総数(株主)と議決権行使の総数(株主)を合算して算出する。

調査票3

以下の項目について、平成14年度、平成15年度及び16年度前半(6ヶ月間)の実績を記入してください。

(高度医療の提供実績)

| | 14年度 | 15年度 | 16年度前半 | 情報収集方法 | 備考 |
|--------------|------|------|--------|------------|----|
| 高度先進医療の承認件数 | [件] | | | 治療管理センター記録 | |
| 高度先進医療の実施件数 | [件] | | | 治療管理センター記録 | |
| 高度先進医療の申請中件数 | [件] | | | 治療管理センター記録 | |
| 治療契約件数 | [件] | | | 治療管理センター記録 | |
| 治療実施件数 | [件] | | | 治療管理センター記録 | |

・調査対象の「治療」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治療(薬事法(昭和36年法律第145号)第2条第7項に規定する治療)の範囲としてください。
 ・「治療実施件数」は、プロトコル数としてください。(治療対象患者数ではありません。また、調査期間中に実施されたプロトコル数としてください。(必ずしも契約件数の内訳と異なる場合があります。))
 ・「治療契約件数」は、プロトコル数としてください。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数をご記入ください。

| | 14年度 | 15年度 | 16年度前半 | 情報収集方法 | 備考 |
|---------|------|------|--------|------------|----|
| 治療完全実施率 | [%] | | | 治療管理センター記録 | |

・「治療完全実施率」は、治療にエントリーされた患者のうち、中止・脱落を除いて最終的にプロトコルを終了した患者の率を記入してください。集計対象となる治療の範囲は、特に限っておりませんので、「契約症例数全てが終了した治療」に限った率としていただく必要はありません。

各年度7月1日時点での状況を「有」又は「無」でご記入ください。

| 専任の治療担当職員による治療管理センター設置の有[有無] | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 情報収集方法 | 備考 |
|------------------------------|---------|---------|---------|------------|----|
| | 選択して下さい | 選択して下さい | 選択して下さい | 治療管理センター記録 | |

(臓器移植)

| | 14年度 | 15年度 | 16年度前半 | 情報収集方法 | 備考 |
|----------------------------------|------|------|--------|--------|----|
| 心臓移植件数 | [件] | | | 診療記録 | |
| 肝臓移植件数(注1) | [件] | | | 診療記録 | |
| 腎臓移植件数(注2) | [件] | | | 診療記録 | |
| 肺移植件数(注2) | [件] | | | 診療記録 | |
| 造血細胞移植(骨髄移植・同種末梢血幹細胞移植・臍帯血移植(件)) | | | | 診療記録 | |

注1:生体肝移植を含む

注2:生体腎、死体腎移植を含む

注3:生体肺移植を含む

(教育研究機関)

| | 【単位】 | 数値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-------------------------------|------|---------|-------------|------------------------|-----|
| 医師数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 指導医の数 (注1) | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| うち、常勤の指導医数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 5年以上の経験を有する医師の数 (注2) | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 専門医または認定医の数 (注3) | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 研修医の受入数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 研修1年目の研修医の受入数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 研修2年目の研修医の受入数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 研修3年目の研修医の受入数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 研修医競争(マッチング)回数 | [回] | | 平成15年度 年間 | | |
| 検理検前(制前)の数 (注4) | [名] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| CPIC臨床検理検前(制前)の検理検前回数 (注5) | [名] | | 平成15年度 年間 | 医療研修推進財団臨床検理検前マッチング協議会 | |
| 検理検回数 | [名] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 検理検回数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 医学実習生入学生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 医師検定試験 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 医師検定試験受入学生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 検査技師数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 検査技師検定受入学生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 理学療法士数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 理学療法士実習生入学生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 作業療法士数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 作業療法士実習生入学生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 上記以外の研修生数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |
| 施設の研修管理委員会(看護員研修センター等)の有数(注6) | [有無] | 選択して下さい | 平成15年1月1日時点 | | |
| 職員数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| うち、兼任の職員の数 | [人] | | 平成15年1月1日時点 | | |
| 研修科(カレッジ)の有数 | [有無] | 選択して下さい | 平成15年度 年間 | | |
| 指導医講習会(注7)に参加した指導医の数 | [人] | | 平成15年度 年間 | | |

注1:指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、7年以上の臨床経験を有するものであって、
 プライマリケアを中心とした指導を行うことができると認められ、研修医の指導に責任を負っていること。
 注2:「常勤」は、研修医の指導に専念して勤務していること。
 注3:「専門医」は、研修医の指導に専念して勤務していること。
 注4:「検理検前」の数は、検理検が行われた年数としてください。検理検が行われた以外の各年(指導医数)を用いてください。
 注5: CPIC臨床検理検前(制前)の検理検前回数とは、単なる医師検定の検理検前回数ではなく、検理検が行われた年数としてください。検理検が行われた以外の各年(指導医数)を用いてください。
 注6:「施設」は、研修医の指導に専念して勤務していること。
 注7:指導医講習会は、「医学教育のためのワークショップ(履修者対象)」「履修者対象」など、研修医を対象とした講習会のこと。厚生労働省・文部科学省が主催した講習会に限りワークショップ形式で指導医の育成を目的とした指導医講習会であれば、参加した指導医の数に含めてください。

(地域医療との連携状況)

| 地域医療連携の設置の有無 (注1) | 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-------------------|-------|--------------|--------|-----|
| [有無] 選択して下さい | | 平成16年11月1日時点 | | |
| [有無] 選択して下さい | | 平成16年11月1日時点 | | |

注1: 「地域医療連携窓口」については、今回の調査においては、病院で地域連携窓口として設置しているものがあれば、「あり」としていただきたいと結構です。

(医療の安全に関する取り組み)

専任の医師に依る安全管理を行う者(リスクマネージャー)の職種別人数

| 職種 | 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|---------------------|-------|--------------|--------|-----|
| 医師・歯科医師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| 看護師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| 薬剤師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| その他(具体的に職種を記入して下さい) | [] | 平成16年11月1日時点 | | |

医療にかかると安全管理のための委員会の職種別人数

| 職種 | 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|---------------------|-------|--------------|--------|-----|
| 医師・歯科医師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| 看護師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| 薬剤師 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| その他(具体的に職種を記入して下さい) | [] | 平成16年11月1日時点 | | |

院内感染対策

| 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-------|--------------|--------|-----|
| [人] | 平成16年11月1日時点 | | |

院内感染対策専任職員数

| 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-------|--------------|--------|-----|
| [人] | 平成16年11月1日時点 | | |

医療にかかると安全管理のための委員会の年間開催回数(回)

| 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|-------|-----------|--------|-----|
| [] | 平成15年度 年間 | | |

(看護師配置の実績)

| 看護職員数 | 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法 | 備考欄 |
|---------------|---------|--------------|--------|-----|
| うち、常勤看護職員数 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| うち、平成15年度採用人数 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| うち、平成15年度採用人数 | [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 専門看護師数 (注1) | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| うち、平成15年度採用人数 | [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 認定機関別人数 | [] [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 認定機関() | [] [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 認定看護師数 (注1) | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| うち、平成15年度採用人数 | [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 認定機関別人数 | [] [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 認定機関() | [] [人] | 平成15年度 実績 | | |
| 全看護職員の平均年齢 | [歳] | 平成16年11月1日時点 | | |

注1: 病院独自の制度による専門看護師・認定看護師は含まない。

(診療管理の状況)

| 診療情報管理に専従する者の数 | 教値入力欄 | 測定期間 | 情報収集方法(情報源) | 備考欄 |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-----|
| うち、診療情報管理士の数 | [人] | 平成16年11月1日時点 | | |
| 1患者1カルテ制実施の有無 (注1) | [有無] 選択して下さい | 平成16年11月1日時点 | | |

注1: 患者1カルテ制とは、入院、外来のいずれも以下のいずれも満たす体制をさす

1)1患者に対して診療科を超えて共通のID番号が付されている

2)カルテが病歴部等で中央管理されている

調査票 7

(医療の質に関する取り組み)
現時点での状況を記入してください。

医療の質に関する取り組みをご記入ください。

(**選択して下さい**) 医療の質を担保するための仕組みがある。
有 → どのような仕組みですか。

(**選択して下さい**) 医療の質を担保するために診療内容を客観的に評価する仕組みがある。
有 → その仕組みの組織上の位置づけはどのようなものか、またその11月の運営状況について記述してください。

[Yellow box for description]

(**選択して下さい**) その他
有 → 具体的にその内容を記述してください。

[Yellow box for description]

(**選択して下さい**) 患者満足度調査の定期的な実施

(**選択して下さい**) 日本医療機能評価機構による医療機能評価の認定

(**選択して下さい**) ISOの取得

(**選択して下さい**) クリニカルパスの導入

有 → クリニカルパスの数
数値にて入力してください。(「人」などの単位を入力しないでください。
%で記入してください。(すでに様式をそのように整えておりますので変更しないでください。)

[Yellow box for number]

適用患者率(11月の退院患者数)(注1)

注1:「クリニカルパスの適用患者率(入院時点)」とは、11月に入院した患者(11月より前から入院している患者を除く)について、クリニカルパスの適用となった患者の率をご記入ください。
パス適用患者とは、クリニカルパスが適用され完結した患者をさし、逸脱例は除きます。

(**選択して下さい**) その他
有 → 具体的にその内容を記述してください。

[Yellow box for description]

